



日本聖公会
大阪教区総務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第473号 2020年4月26日発行

「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。」
(ヨハネによる福音書20:27)

ずっと心にひっかかっていたのです。どうして神様は、十字架で受けられた傷を負うたままの主イエスを復活させられたのだろうか。復活の主イエスの体になぜ傷があるの



復活のキリストは、 傷を負うたまままで

主教 アンデレ

磯

晴久

人を大切にされる主イエスらしくて、うれしくなります。よく言われるのは、主イエスの十字架の出来事と復活の出来事は、不可分の出来事であり、復活の主イエスの体に傷があるのは、その「しるし」だということ。また、この傷跡は、十字架と復活の出来事が、私たちとかかわりのあることだからだともいわれ

苦しんでいるのだ、と。彼が刺し貫かれたのは わたしたちの背きのためであり 彼が打ち砕かれたのは わたしたちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによって わたしたちに平和があたえられた 彼の受けた傷によって、わたしたちは癒された」(45節) 聖書は、私たちが考える「栄光」や「救い」と正反対のひどい、

うか、という視点を与えます。痛みや傷、苦難がなくなることを私たちは望みますが、実際にはなかなか消えるものではないかもしれません。人生の十字架を背負って生きていくしかないことでもあります。しかし、そこからしか見えないことがあること、あるいは痛みや傷に意味を与える、それが主イエスの傷を負ったままの復活の出来事なのです。

今、新型コロナウイルスが猛威を振るっています。尊い命も失われています。多くの人々が困難と不安、恐れの中にあります。一日も早い終息を祈ります。と同時に、私たちはこの傷ついている世界を通して、神さまから問われていることがあるのではないのでしょうか。

皆で世界の癒されることを祈りながら、神から問われていることは何かを、見つめ究めていきたいと願っています。(いそ はるひさ・大阪教区 主教)

だろうか。復活の主イエスと出会ったという弟子たちに、ひとり取り残されて、「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」と、トマスは拗ねたように言い放ちます。この疑い深いトマスのためならば、遠回りしてきた一

ます。私たち一人一人が負う痛みや傷と、主イエスの傷はつながっているのです。イザヤ書52章13節から53章の「主の僕の苦難と死」には次のような一節があります。「彼が担ったのはわたしたちの病 彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに わたしたちは思っていた 神の手にかかり、打たれたから 彼は

して、イザヤの苦難の僕は主イエスを指し示しています。主イエスが傷を負ったまま復活されたことは、人生の痛みや傷、苦難を負う人々を、どれほど励ましたことでしょうか。それは痛みや傷、苦難からの解放への希望のメッセージを私たちに与えました。そしてそのことに留まらずに、痛みや傷、苦難とどう向き合

聖職リレーエッセー 14



神の地名

司祭 シモン 原田 佳城

今年3月に大阪聖パウロ教会に赴任した原田佳城です。新型コロナウイルスの影響で3月1日以降、公会で礼拝は行われておらず、かつてない状況が続いています。この記事が皆さまの目に留まる頃には、事態が少しでも好転していることを願います。

大阪聖パウロ教会は北区「茶屋町」にあります。初めての方に教会の場所をお伝えする時まず、「ロフトをどこ存じですか？」と尋ねます。「道が入り組んだこの近辺で、有名な雑貨店ロフトがわかり

やすい目印となるからです。そのロフトの近くに古い石碑があることに最近気がつきました。石碑には「鶴乃茶屋跡」と文字が刻まれています。どうやら江戸時代から明治頃まで、茶屋町・鶴乃町は梅や菜の花の名所で、鶴・萩・車という三軒の茶屋がある行楽地だったようです。ちなみに司祭館の場所は縁起のよさそうな地名「鶴野町」で、このあたり一帯がのどかな風景だったことを想像させます。

思えば、これまで私が住んだ土地の名がそれぞれに妙に意味深なのです。神学校を出て最初に遣わされた「神戸II 神の戸」に始まり、英国の留学先・ケンブリッジのウエストコット・ハウスは「Jesus Lane」という道に面した所でした。その後、徳島市幸町(さいわい)、明石市太寺天王町(てんのおう) などなど。地名にはそれぞれに歴史、意味やいわれがありますので、神の地名というのはいじりつけではありませんが、そう思うだけで神の導きを感じられるよう



「第8回U26全国集会」

フランシスカ 内海理紗子

2020年2月22日(土)から24日(月)まで、管区規模の青年会である第8回U26(ゆーじろー)全国集会に参加

楽しいではないですか。

この一か月強の間にコロナウィルスの感染が拡大し、危機感が一挙に高まりました。教会に集うことができず、連日耳にする情報に不安を覚える方も多いと思います。この困難な時、それぞれが住む地で祈りと生活を大切に、神を見上げてキリスト者としての自覚を新たにしたいと思えます。(はらだ よしき・大阪聖パウロ教会牧師) *次回から、新リレーエッセイです

加してきました。これは18歳から26歳までの青年を対象としたもので、教区を越えた繋がりと信仰の深まりを目指しています。参加者は北海道から沖縄までの8教区で計35人、会場は大阪にある信太山青年野外活動センターでした。今回のテーマは「Start on one's own」であり、これは「自分から始める」の意味を持ちます。

3日間、趣向を凝らした様々なプログラムがありました。例えば、マインドマップ作りでは、自分と教会、仕事、学校などの繋がりを振り返りつつ、班のメンバーと理解を深め合いました。また、デイベート大会では、信仰生活にまつわるお題もあり、聴衆から「参加したい」という声が上がると白熱したものとなりました。

今回、私は2日目からの参加となりました。しかし「初日から参加したかった」と思わせるほど集会の雰囲気はと



ても和やかで、皆が楽しくプログラムに取り組んでいるのが伝わってきました。若い世代の青年が多く参加してくれたことも集会を盛り上げる大きな要因だと感じます。そんな主体性と熱い信仰を持った青年たちに負けないよう、そして彼らの活動を支えなければならぬと気の引き締まる思いです。また、今年9月には、4年に一度の全国青年大会も大阪にて開催されます。こちらの大会もU26集会と合わせて、多くの方に知っていただきたいと強く願っています。(うつみ りさこ・川口基督教会信徒)

「京都、大阪両教区主催の黙想会に参加して」

マリア 古澤陽代

京都、大阪両教区聖職養成委員会主催の「春のセミナー」大斎節の黙想会が、2月24日(月) 奈良基督教会で行われました。黙想指導は、横浜教区の前主教さま、三鍋裕主教でした。当日のプログラムは、朝の祈り、「主の祈り」についてのお話、個々での黙想、昼食、信仰についてのお話し、

午前からの黙想では、「主の祈り」についてのお話しを受け、祈りを感じて取り取ろうとしたように思います。そして、午後からの黙想では、三鍋主教のお話の中で、微かな信仰仰は、マイナスでもゼロでもない、プラスである。そのように仰っていたように思いますが。「微かでも、持っている。」その言葉に、今まで、信仰を持っていてのだろうか?と、不安に思っていましたので、とても安心出来ました。

今回の黙想会に参加をさせていただき、豊かな時間、そして不安な気持ちに安心をい

ただいた事に感謝いたします。
(ふるさわ はるよ・富田林 聖アグネス教会信徒)

新型コロナウイルス感染防止対応について(第4次 主教教書 抜粋)

2020年4月2日

主の平和

新型コロナウイルスの感染が世界に広がっています。日本国内でも感染者が増え、どこでうつったのか、リンクが負えない人も増えていきます。感染者の多い地域への移動抑制・制限を呼びかける声も、大きくなっています。教育機関の再開もまだ先の見通しが立ちません。

皆様も判断に苦慮しておられることと存じます。

先日第3次のお知らせで、4月以降の主日礼拝の緩やかな再開を申し上げましたが、刻々状況が変化する中、現在の状況を鑑みて、再開は難しいという判断をされた教会もあります。また、復活日には複数回の礼拝を行い、一度にたくさんの方が集まらないように工夫する教会もあります。



「やっぱりいいなあ」

った。思いやりの心はやっぱりいいなと思った。文明の

先日ある学校で、中学生たちが次々に、建物の中に入っていくところに出くわした。ドアのノブを押して入る扉であった。ほとんどの子が、ノブから手を放すときに、次来る人のことを確かめて、ドアをそのまま抑えて、ここに微笑みながら、中に入るのを手助けしていた。その次来る人のことを配慮する姿が美しく、私の心はとてもうれしい気持ちでいっぱいにな

今、世界は新型コロナウイルスで困窮している。ニュースは呼びかけ。「不要不急のお出かけはしないで、自宅で待機してください。」学校

も休校して自宅で自習である。しかし孤立してはいけない。孤立させてはいけない。電話したり、手紙を書いたりしたい。人を思いやる心を、今こそ忘れてはならない。「自国ファースト」なんて嫌な言葉もささやかれ始めている。愛の反対は無関心である。自分のことばかりでなく他者のこと、自国のことばかりでなく、他国の人々のことも思いやる心を大切に、この難局を乗り越えよう。

(主教アンデレ)

教区関係教役者 逝去者記念聖餐式

今般の状況を鑑みて、5月度の逝去者記念聖餐式は中止いたします。

皆さま、それぞれの場所で逝去者を覚えてお祈りください

- 司 祭 よねむら けんじ 米村 健治 (1975.5.15)
- 伝道師 おぼた くの 小幡 久能 (1961.5.24)
- 司 祭 アーネスト・ゴードン・ハッチンソン(1973.5.29英)
- 宣教師 メーベル・C・バックス (1984.5.30英)

各教会で状況の違いもありま
すので、それぞれの教会の判
断を主教として支持します。
一方、4月1日(水)に新
型コロナウイルス対策を検討
する政府の専門家会議より、
東京や大阪・兵庫は感染拡大
警戒地域とされました。わた
したちも、気を緩めずに対応
しましょう。

主教として、現時点で更な
る大きな状況の悪化があると
判断し、大阪府下・兵庫県下
の主日礼拝を5月3日(日)
まで中止と致します。主教巡
回が決まっている教会や堅信
式が予定されている教会は、
恐れ入りますが主教までご連

絡ください。

管理牧師と囑託や協力司祭
としてご奉仕頂いている聖職
は、従来通りよく連絡を取り
合つて対応をよろしくお願い
します。(4/26現在、第5
次主教教書が教区ホームペー
ジに掲載されています。)

教区の動き

常置委員会報告

2月9日(第4回臨時)

I. 協議事項

* 聖ルシヤ教会の牧会補助金
申請が多額になることへの対
応について、協議した。

2月27日(第5回定例)

I. 主教報告 及び諸報告

* 2月20日(木)～23日(日)
の台湾聖公会主教按手式への
訪問は無事に終了した。その
際新主教から大阪教区と新た
な関係を結びたいとの要請が
あったため、これまでの交流
の在り方を総括して検討する
こととした。

* 聖職候補生志願の出ている
宮本憲氏(音屋聖マルコ教会)
の面接を次回に行う。
* OK委員会では「教区編成」
「財政」「宣教」のワーキング
グループを立ち上げた。
* 教区会計監査が2月27日
(木)に終了した。

II. 協議事項

* 第124(臨時)教区会の議案
について確認した。
* 4月からの人事に伴う教区
費分担金の補正について承認
した。

* 7月のランベス会議に出席予
定の磯主教の費用について、教
区内で募金を募ることとする。
* 新型コロナウイルスへの対
応について各教会へ注意喚起
の通達を出す。

* 京都教区との教区合併に向
けて合同常置委員会を適時開
くこととし、日程調整を行う。
* 英語礼拝を「英語会衆」と
し、宣教局のもとに置くこと
とする。

* ブラジル聖公会のカワノ・ア
ケミ・カルメン司祭の大阪訪問
時の対応について協議した。
* 4月10日の聖金曜日礼拝の
奉獻を「阪神淡路大震災被災
者支援のため」とする。

3月11日(第6回定例)

I. 主教報告 及び諸報告

* 新型コロナウイルスの影響
で、J's キャンプをはじめ様々
な教区内外の行事が中止又は
延期となっている。

II. 協議事項

* 新型コロナウイルス感染防
止のため3月末までの主日礼

拝を中止とし、協力・囑託司
祭の務めを解くこととする。
主日以外の諸行事、教会の場
所貸しも原則中止・延期とする。
* 第124(臨時)教区会も延期
とする。延期時期は検討とする。

* 宮本憲聖職候補生志願者の
面接を行った。
* 7月のランベス会議のため
の募金期間を4月～7月とす
る。目標額は定めない。

* 京都との合同常置委員会の
日程を4月30日(木)、場所
は大阪聖パウロ教会とする。
* 三重県菟野の土地について
現地見学も含めて対応を検討
する。
* 富田林住宅の今後の対応に
ついて協議した。

魂の平安を

祈ります

○大阪聖ヨハネ教会

わたなべ ひろし
渡邊 容
(4月10日・86歳)

○聖贖主教会

うつのみや
宇都宮コト
サラ
(3月28日 91歳)

○恵我之荘聖マタイ教会

なかがわ ひろゆき
中川 裕之
ステパノ
(3月12日 73歳)